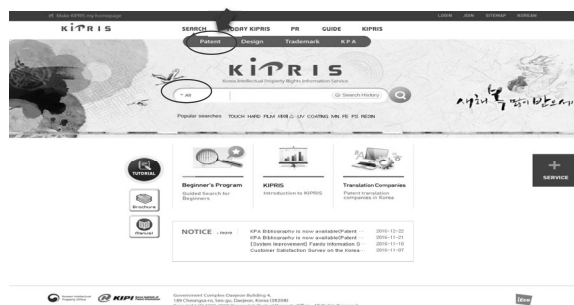




## KIPRISを用いた特許検索

今回は韓国特許庁が提供するKIPRIS（キプリス：韓国特許情報サービス）についてお話ししたいと思います。KIPRISとは韓国特許庁が保有する国内外の知識財産権情報を個人や弁理士、企業などが無料で活用できる検索・閲覧サービスであり、1998年からインターネットでのサービスが始まりました。2017年1月現在、データベースの収録範囲は国内・国外の特許、実用新案、デザインに関する情報が1948年6月20日から現在まで、商標に関する情報は1950年11月11日から現在までであり、韓国特許英文抄録（KPA）や審判に関する情報なども提供されています。

では、メイン画面（<http://eng.kipris.or.kr>）にアクセスしてみましょう。



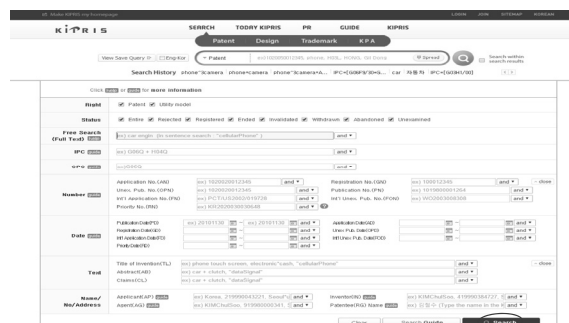
ここでは権利区分ごとの検索はもちろん、権利区分に関係なくキーワードを入力してすべての権利を一度に検索することもできます。

さらに効率よく検索するためには、上段にある権利区分から例えば‘Patent’を選択して‘advanced search（項目別検索）’の画面に移動します。検索画面は大変簡潔に構成されているため、初めての方でも容易に検索

を行うことができるようになっています。どのように入力していいかわからない場合は、項目の横にあるヘルプやガイドをクリックしてみましょう。表示のとおり、まずは検索する権利を選択し、年度を選択して番号などを入力して‘Confirm Number（番号確認）’をクリックすると、‘Selected Number’に表示されるので、番号を確認したら‘Submit’をクリックして検索が始まります。もちろん出願番号だけでなく、公開番号や登録番号、国際出願番号などからも検索することができます。

また、IPC（国際特許分類）による検索も可能であり、事前にコードを把握していなくてもガイドを参照して検索することができます。また、IPCを基に細分化されて絞り込みが比較的容易だと言われるCPC（欧米共同特許分類）によるコード検索も導入されましたが、そのデータ蓄積は2015年からとなっているため、現状ではIPCによる検索がメインになると思われます。

Free Search（Full Text）では特定のキーワードを含む文献を検索ことができ、さらにAND（\*）、OR（+）、NOT（\*!）、NEAR（^n）などの演算子を用いてさらに絞り込む



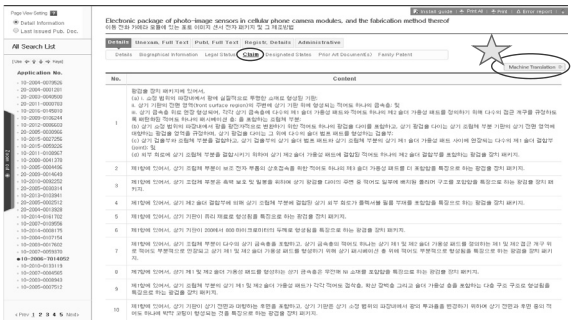
ことができます。

そして、画面右下の‘Search’をクリックすると検索結果の一覧が表示されます。一覧では代表図アイコンが表示され大変見やすくなっています。

一覧は画面上段にあるView Changeを選択することによって表示をテキストビュー、選択図ビューなど好みに応じて変更することができます。そして、画面左側にあるCategoryを選択することによって検索条件を絞り込むことができます。



ピックアップされた文献をクリックしてみると、別ウィンドウで詳細情報が表示されます。ここでは書誌事項、請求の範囲、ヒストリー、ファミリー特許に関する情報を得ることができます。‘Status’では検索対象の条件だけチェックを残して‘Enter’を押して結果に反映させます。では、‘Claim’をクリックしてみましょう。請求の範囲が韓国語で表示されますが、右上段にある‘Machine Translation’をクリックすると英訳が表示されます。KIPRISによる検索で最もお薦めできる点はその機械翻訳の精度です。また、‘Unexam. Full Text’をクリックすると公開公報が表示され、右上段にある‘Machine Translation’をクリックした後、案内に従って認証を経ることで公開公報の全文を機械翻訳することもできます。翻訳された文書はPDF形式で保存することもできます。



経済が停滞するなか、企業は生き残りをかけてしのぎを削っています。バブルの頃のように設備投資や事業拡大に潤沢な資金を投入できる企業は減ってきており、だからこそ今まで以上に他社の特許・技術動向を知ることが大切になってきています。一つの製品に様々な特許技術が絡む今の時代では、自社の製品に関連する分野だけでなく、幅広い分野の特許検索が求められていると思われます。もちろん本格的な検索を行うには会員登録する必要がありますが（有料）、企業の知財部や大学の研究室において、特に特許検索・照会作業を初めて行うなど人材教育の一環としてKIPRISを利用する方法もあり、数ある検索方法の中でも手軽に利用できる検索エンジンの一つとしてお薦めすることができます。



### 筆者紹介

柳鍾宇 (ユ ジョンウ)

GIP Korea代表弁理士。ソウル大学電気工学部を卒業。2009年弁理士登録。弁理士になる前は(株)LGディスプレイで設備購買及び技術営業の日本担当を務める。前職の特許事務所では、最初は(株)サムスンの特許明細書作成/中間処理/外国出願などを行い、後に日本企業の韓国出願を担当。趣味はゴルフ。